

平成25年度に建設工事で発生した事故事例（墜落・転落による事故）

事故概要:

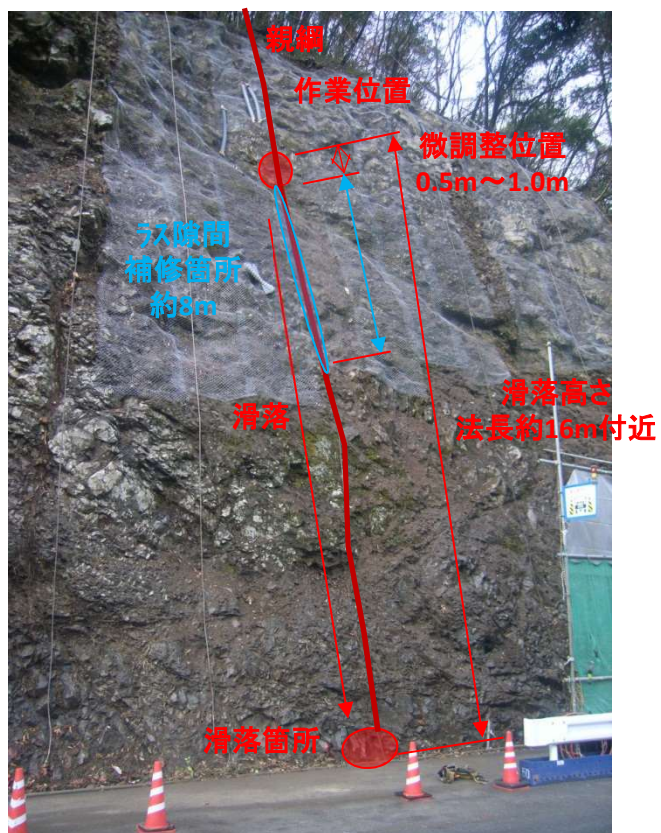
ラス張作業中、作業員が約16mの高さの法面にて、下方へ移動しようと親綱を左手で握り、右手でロリップ金具を握って下方にスライドさせたところ足が滑り、滑落した。

事故原因:

ロリップを握ったままであり、開放状態となっていた

改善対策:

ロリップの開放操作は、体を安定させてから行うよう徹底する



ロリップ（閉じた状態）



ロリップ（開いた状態）

分類: 法面工、移動中

被害状況: (左脛腓骨幹部骨折、第2・3・4胸椎棘突起骨折、第2腰椎横突起骨折) 2か月の安静加療

平成25年度に建設工事で発生した事故事例（墜落・転落による事故）

事故概要：

法面にて横移動するために親綱に固定していたロリップ金具を外して移動する方向の親綱に付け替えようとしたところ、足が滑り、約12mの斜面を滑落し道路へ落下して負傷した。

事故原因：

- ・親綱とロリップ金具が連結していない状態となっていた
- ・作業員の危機管理意識欠如

改善対策：

- ・ロリップ金具の2丁掛けの完全実施
- ・安全教育、監視の徹底



ロリップ金具の2丁掛



分類：法面工、移動中

被害状況：(心膜損傷、左血気胸、骨盤骨折)3か月以上の入院加療

平成27年度に建設工事で発生した事故事例（転倒による事故）

事故概要:

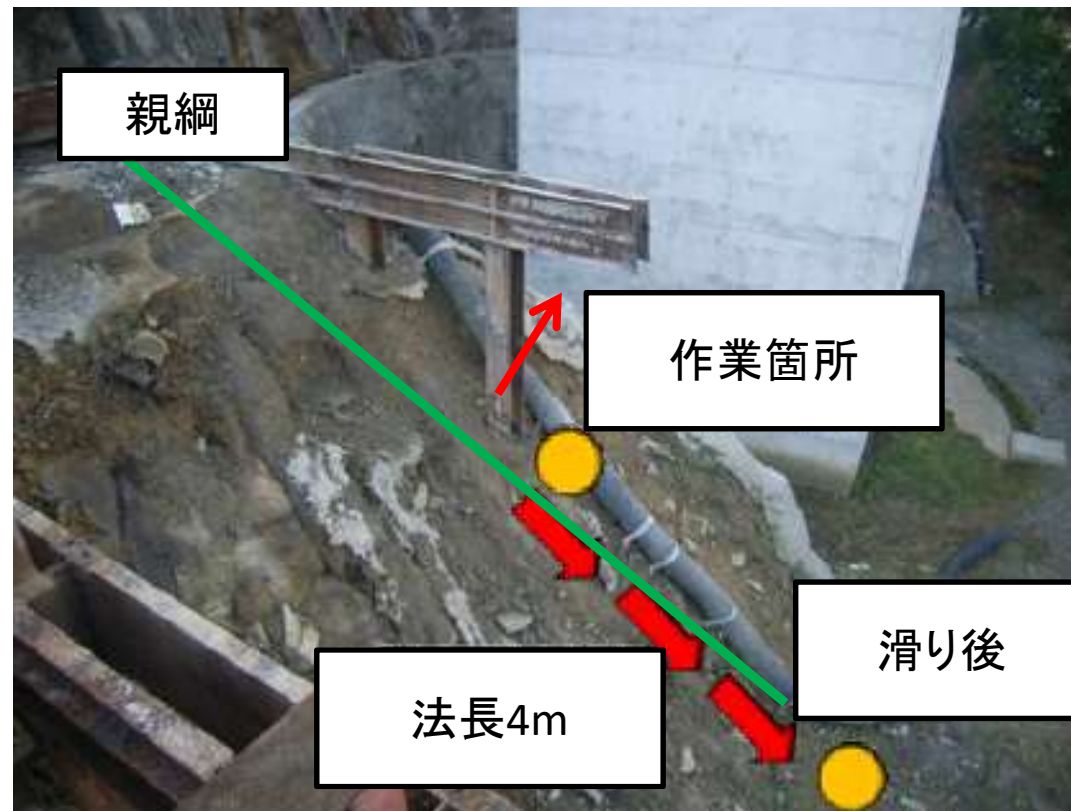
仮設材作業撤去において支持杭の切断後、休憩に入ろうと作業を中止し、緩勾配法面で安全帯を外して横方向へ移動しようとしたところ、つまずき法面を滑り落ちて負傷した

事故原因:

- ・本人の不注意

改善対策:

- ・安全教育の徹底
- ・作業手順を徹底する



分類: 法面工、移動中

被害状況: 2日間の休養(顔面裂創)

令和3年度に建設工事関連業務で発生した事故事例（墜落・転落事故）

【事故概要】

被災者は、法枠上で単管杭を取るため横移動しながら、頭上の索道の位置を確認しようと上空を見上げたところ、左足を踏み外し約85cm下の法枠横梁の水切りモルタル上に転落した。

【事故原因】

- ・被災者は、頭上の安全確認のため索道を見上げながら移動しようとしたため、足元の注意が疎かになり足を踏み外した。
- ・当該箇所法の傾斜が約30度のため「ロープ高所作業」にあたらなことから、転落防止のロープは1本で、ライフラインを装着していなかったうえに、装着していたロープも移動のため緩ませていた。（安衛規則では四十度以上の斜面における作業を「ロープ高所作業」としている。）

【改善対策】

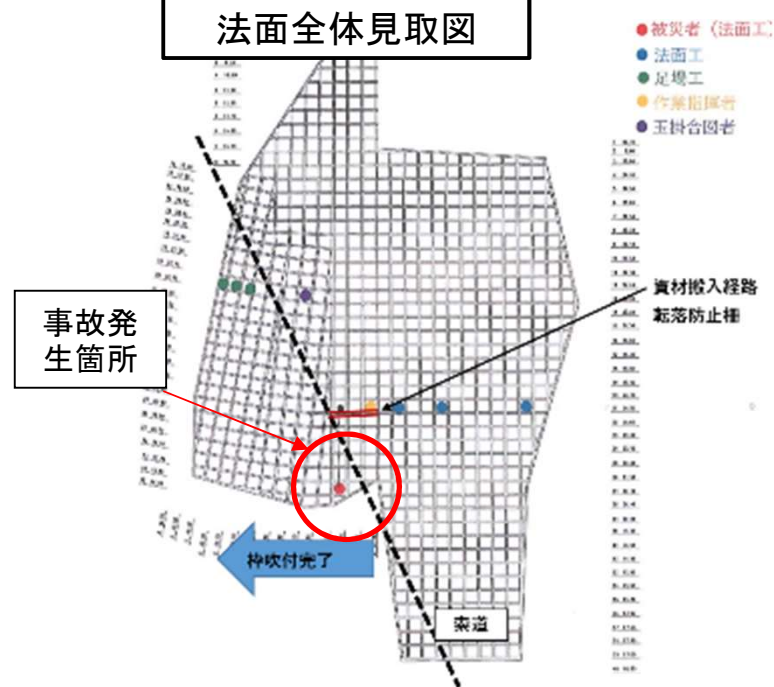
- ・現場内での作業や移動では、常に高所ロープ作業と同様のロープを装着することの徹底。
- ・法枠上の横移動経路の明示（着色）と、柵等の転落防止措置による踏み外し対策の実施。
- ・安全教育の徹底と足元注意看板の設置

事故現場状況写真



被災者は上を見上げた際、足を滑らせた

法面全体見取図



【分類】法面工、移動中

【被害状況】業者人身 男1人 左橈骨遠位端開放骨折・左踵粉碎骨折等（3ヶ月の加療）